

7月19日(火曜日)泊り

今日は風が強い予報が出ていたので、出港はせず、ここでゆっくりすることにする。朝、久しぶりに外食をすることにして、散歩しながら朝から開いている店を探して注文しているときに、艇で鶏ガラを煮たままで切るのを忘れて来たのに気づきガスを切りに走る。

帰りにロッコとエツコはショッピングを楽しむ、彼女たちにいわせると、チョットしたものにセンスが良いとのことだった。われわれは、あれこれ暇つぶしに見ながら付合う。

お昼は、艇で一昨日の残りのカレーをパンとご飯で頂く。休養日は、昼食の後はそれぞれ読書、お昼寝と過ごす。昼寝の後、マコと私はゴムボートで左右の景観を楽しみながら隣の入江の浜に泳ぎに行く。

時間が17時過ぎだったが、まだまだ海水浴客が沢山いた。

夕食は、マコがハンバーグを作ってくれ、ポテト、サラダと赤ワインで頂くが絶品の味であった。

7月20日(水曜日) Cala llonga-Alcudia 45NM

快晴8時45分に出港して風次第で目的地を変更することにする。1番目はここから約10NM先のCristo、2番目は約20NM先のCala Ratjada、3番目は約45NM先のAlcudia、4番目は約50NM先のPollensaを選んで行く。

コースは北東、風は西風ジブを揚げる前に最初からジェネカーを揚げて気持ち良く1時間ほど走るが、風が北に回ってきてジェネカーを諦めてクローズにする。

1番目、2番目の予定目的地を通過した頃から風が不安定になり機帆走にする。段々風が強くなって、かつ上りになり、最終目的地を諦め3番目の目的地Alcudiaに変える。

CAVOK(天気良好)に反して風が益々強くなり15Mに近い風になる。

乗艇したばかりのロッコには厳しい揺れの洗礼であった。

途中、久しぶりに魚が釣れる。バラクーダでエラ、内臓を取り、氷でしめておく。

17時30分にAlcudiaに舫いを取る。ここのマリーナはマヨルカ島の北の端になるが、レストランも沢山あり、大変賑やかである。

今日は潮を浴びたので、早速、シャワーを浴びて、海辺の洒落たレストランで夕日を見ながら4人でお酒を楽しむ。充実した時間である。

夜は、バラクーダを刺身にしたが、白身で味はスズキのようであり、美味しかった。そして明太子、きゅうちゃん、ジャコ山椒でご飯を頂く。スープは、残り物の関係もあり、ローストチキンと玉葱、ジャガイモ、ソーセージを入れたスタミナスープであった。

夜、トイレに行ったら近くのイギリス艇から声がかかり、一杯如何ということで、お邪魔する。隣の艇のドイツ人夫婦も来ていて、国際色豊かになる。なんとイギリス艇のオーナーは、バーン・エアーのパイロットとのこと。マコも参加して話が盛り上がる。

7月21日(木曜日) Alcudia~Cala del Pinar

今日は、入江巡りをすることにして素敵な入江があれば、そこで昼食を食べる予定で11時に出港する。カラロンガの深い入江から周囲の景色を楽しみながら、ゆっくりと入江の外に出る。快晴の素晴らしいお天気の中、岸沿いに4NM先の Playa de Coll Baix に寄る。



コバルト色の綺麗な海と砂浜、岩壁が周りを囲みきれいな情景であった。

ここを周遊した後、この半島の裏側の Cala del Pinar にアンカーを打つ。ヨット、モーターボートと5、6隻錨泊していた。

北東以外は岩壁に囲まれ錨泊には適しているのでここで今晚は錨泊することにする。水深は12、3M位で、底まで見えるので海草の無い砂地にアンカーを落とす。早速潜り、アンカーの状態を確認したが、しっかりと砂地に食い込んでいた。

お昼は、スパゲティとおにぎりを食べる。夕方になると(夕方といっても、太陽は上だが)徐々に艇はアンカーを揚げて帰って行く。われわれと2艇ほどが今晚錨泊するようだ。何もすることのない、時を忘れた自然の中の時間を過ごす。夕食は夕陽を見ながらミートローフとスパゲティの付合わせ、豚肉のガーリック、ジンジャーソテーとアラポテト、アルカディア風サラダ、グリーン茄子焼をビネガーソースで赤ワインを頂く。錨泊であったが、素敵な晩餐で大満足であった。

食後、夕陽を楽しみ暫らくすると空の星が輝きだし満天の星空になる。停泊灯も一時消灯して星座を皆で楽しむ。

7月22日(金曜日) Cala del Pinar ~Pollensa 10NM

夜半からうねりが入るようになり、艇は揺れが強くなる。朝起きてから、朝食は別の泊地に移動して食べることにする。8時、アンカーを揚げてこの湾の対岸の Cala Formentor に移動して固定ブイに舫いを取る。このほうが島影で、うねりが少なく泊地としては適であった。



しかし、相変わらず風が強く島影だが 10M 近いブローが吹く。

昼食後 Pollensa のマリーナに移り、マリーナに舫う。ここは、港の近くに無数の艇がムアリング、ないしアンカーリングしている。ここも自然の中の良港という感じで、周りは山に囲まれ、山の頂上には古代の見張小屋が見え、うねりも入らず自然と調和した美しいマリーナである。マリーナは、プール、レストランが備わり設備も素晴らしい。ポレンサに入港後、水洗いをして、このマリーナのクラブのプールサイドのレストランで一杯飲みながら軽食をつまみ安らぐ。

隣に係留してあるスペインの若いカップルから、日本の艇の横にきて大変名誉だといわれた。彼等はバルセロナからきていて、親密感があり親切で、色々この辺の説明をしてくれた。

ここも大きな海水浴場で、海岸沿いにレストラン、ブテイク、お土産物屋さんがずらりと並んでいる。女性陣は、お土産を探しに海岸通りに入る。午後は皆さん、艇で昨日の揺れによる疲れを癒す。

夕食は、ロッコが鶏肉の胸肉のマルサワイン煮を作ってくれ、鶏肉のあっさりした胸肉がマルサワインの味付けとぴったり合い大変美味しく頂いた。

ここポレンサは、ひと夏係留して過ごしたいところであった。

7月23日(土曜日)

朝食後、ゆっくりして 11 時からポレンサの町の見学と、ローマ時代に造られたローマ橋を見に行く。



バスで行こうとして停留所で待っていたが、タクシーで9ユーロだということなのでタクシーを使う。町には、立派な荘厳なカテドラルがあった。ポレンサの旧市街地を抜けてローマ橋を見学するが、オリーブ畑から町に通じる道の牧歌的な橋であった。その後、街中を女性陣は、いつも通りショッピングするが、私は腹の調子(胆石?)が思わしくないので先にポレンサの港に戻り艇で休む。

今晚は、隣のスペイン艇を寿司ダイナーに招待しているので、皆さんは帰ってから準備をする。比較的若い男と女友達2名、計3名のスペイン人が、白ワイン3本持ってきてくれた。

楽しいひと時を過ごし再会を誓い就寝する。

7月24日(日曜日) Pollensa~Soller 38NM

今日はマヨルカ島の北の Soller に向け 0820 出港する。曇りの天気でポレンサの湾を抜けるのに7NMほど、北風に乗って湾内をセーリングする。湾の東端の Formentor 半島をかわしてから、ソレルは、西に約30NMの距離になる。風がバリエーションになり、マヨルカ島の北の岩壁を見ながら機走する。ソレルに近づいてから、雲行きが悪くなり珍しく俄雨が降る。

ソレル港は、自然の良港で釣針のような湾の形で針の部分の部分にマリーナがある感じである。周りは松の木が生えた山々聳え、緑も多く魅力あるマリーナであった。CH9でマリーナを呼出すが返事なく、いつも停泊場所が分からないとき泊めるガススタンドも見つからず、ハーバー内をうろろしている、他艇を誘導しているスタッフが見つかり係留の旨連絡して、舫いを取った。



入港手続は、1830迄オフィスが閉まっているので、その後するよういわれた。

マリーナには大小様々な艇が係留しており、また湾内にも多数の艇が錨泊している。また、ここはマヨルカ島からスペイン本土に一番近い距離約 100NM の位置にある。

19 時過ぎにマコが入港の手続に行ったら、今晚、マリーナでお祭りがありご招待とのこと皆さん楽しみで行く。ビール、ワイン、パエリアその他、盛り沢山あったそうだ。

私のほうはお腹の痛いのが再発して、明日スペイン本土に渡るので用心して艇で休む。

7月26日(月曜日) Solier-Barcelona 105NM

今日は、一気に Barcelona にある Puerto Olimpic を目指すことにする。当初の計画では Tarragona, Ginesta, Barcelona 本港に寄って行く予定だったが、私の体調が思わしくないのをマコが気遣って提案してくれた。Solier から約 100NM の距離なので、CAVOK の航海以来、初めての一昼夜のセーリングとなる。早く出ても着くのが朝方早い時間になってしまうので、午後 3 時頃出港することにした。

私は、お腹の痛みの再発が心配なので、午前中に Solier の町の医者に再度診察に行く。往くときは病院が分からないので、タクシーで行ったが、帰りは Solier から Port Solier へのレトロ口の電車に乗って景色を楽しんだ。診断は、以前と同じで同じ薬で良いとのことであった。私としては、もしもに備えて抗生物質をお願いしたが不要ないとのこと薬は頂けなかった。

15 時 20 分に出港して、コース北に対して南西の 5 ~ 6 M の良い風に恵まれたので、最初からジェネカーを張り、快調にスタートする。艇速も 7KT をキープしていたが、段々風が強くなり、白波が出始めたのでジェネカーを降ろし、ジブにした。それでも時には 8KT 出て、このままでは明るくなる前に到着しちゃうので、ある程度行ってからスピード調整を考えることにした。ワッチは一時間交代でマコとしたが、夜間天の川が浮き出るような星空を見ていると時を忘れた。

夜は、ジブ、メインともリーフしたが 7 ~ 9M の風の中、快調に平均 7KT で滑った。夜半、このままでは朝 3 時頃着いてしまうので、メインをファーリングしてリーフしてジブのみで帆走する。朝方になると、風が弱まり北に変わり、丁度時間調整になった。

11 時 10 分 Puerto Olimpic に舫いを取る。ここに 8 月 12 日まで艇を係留して置く予定だ。

ここで日本人の方が艇に声を掛けてくれた。4 年前に日本を出てアリューシャン、アラスカ、カナダ、北米、パナマ、アイスランド、地中海を廻ってきた Fang という艇長の林さんだった。

ここからはソマリア沖の海賊が危ないので、船積みしてシンガポール迄輸送するそうだ。

夜は、若い彼等のクルー 3 人を招んで CAVOK で宴会をする。

あいにく、私のほうはお腹が再度痛くなり、宴会はしていたが 11 時過ぎに痛さが増してきたので、昼間調べておいた近くの大きな病院 Hospital del Mar に緊急で行き、調べてもらう。超音波、レントゲン、血液を調べて結果、やはり胆石が悪さしているようだ。即、入院となる。

この時 Fang のクルーの良太君が長い間付添ってくれ、感謝する。

7月27日~8月1日

この間マコ、ロッコ、エツコはバルセロナの町の観光やピカソ美術館、フラメンコ、またお料理と楽しんでくれた。

マコ、ロッコは、31 日、無事バルセロナを発ち、ミュンヘン経由で日本に向った。マコ、ロッコに大変迷惑をかけてしまったが、マコ、ロッコ、エツコのお蔭で、予定通り無事バルセロナに艇を着けることができた。

マコ、ロッコは、昔からの友であるが大変感謝している。

私は、ドクターから 8 月 1 日に日本に帰っても良い許可が出たので、予定通り悦子とロンドン経由で帰国した。

初めて海外の病院に入院したが、入院した Hospital del Mar は大きな病院で施設も良くドクターもナースも親切で 2 人部屋だったが、トイレ、シャワーもあり、また毎日ベットメイクをしてくれ、窓辺からは海が見え満足であった。

治療のほうは、点滴、注射と飲薬を毎日続けた。

海外の入院は高いと聞いていたが、最初にデポジットで 8000 ユーロ請求された。実際にかかった費用は 4040 ユーロだった。

入院中にカード会社に連絡したところ、保険会社から Medic ' Air と云う国際医療を扱う会社と直接連絡を取れるようにしてくれ、そこが全て保険業務を担当してくれた。デポジット払う前だったら直に支払いもしてくれたそうだ。また、病院のドクターとも直に Medic ' Air のドクターと電話で話し、8 月 1 日帰国の件も問題なしと判断してくれた。今後、このような事態があったら、即カード会社に電話することにした。

2 日、無事成田に着き、その足で慈恵医大病院に緊急で行ったが、痛みがないとのことで入院はできず自宅に帰った。

以上